

団体名 糸満市立西崎小学校	連絡先 TEL : 098-992-3451 Eメール : nisisyo@nishizakis.city.itoman.okinawa.jp
------------------	--

1 実践事項 (②)

四者会議を通じた「魅力ある学校づくり」の取組

2 実践内容

自己肯定感の高まり、学び・育ちの実感、組織的関わりを踏まえたグランドデザインに基づいたカリキュラムマネジメントの推進を、「学推」「生徒指導」「校内研」「児童会」が連携した「四者会議」を通して行う。

四者会議では、児童の育ちや質的授業改善を、何をどのように見取りどのように実践・評価していくかを検討し、PP2で示された「支持的風土づくり4つのポイント」を取り入れた組織的かつ計画的な実践を通して自己肯定感を育み、児童の自治意識の醸成、学校改善のための組織づくりを行う。(図1)

具体的には、学推と児童会が連携し、2年生以上参加の代表委員会を通して学校の課題を明確にし、課題解決策を各委員会及び学級が話し合い実践する取組である。また、生徒指導と校内研が「自己決定」「共感的人間関係」「自己存在感」の視点である「生徒指導の3機能」を授業の場面ごとに取り入れた質的授業改善を連携して行う。



図1 四者会議の相関図

3 説明資料

(1) 自治意識の醸成【連携：「学推」「児童会」】(図2)

学推で行っている学習規律・生活規律の7項目である「西崎セブン」を、集計データをもとに2年生以上及び全委員会が参加する代表委員会で、学校として取り組む課題を決定し、全委員会、全学級で課題解決策を話し合い実践した。



図2 児童の主体的な取り組み例

(2) 質的授業改善【連携：「校内研」「生徒指導」「学推」】

「方策1 日常化する(質的授業改善)」に提示された生徒指導における「生徒指導の三機能」を、授業づくりの中に生かし、「導入」「展開」「まとめ、ふりかえり」の中に取り入れた。(図3) また、「マイノート(授業ノート)」を通して日常化を図り(図4)、指導案作成の際にも記載欄を設定し、校内研との連携や他教科との横断的な取組を行った。



図3 生徒指導の三機能の位置づけ

4 成果

学校評価アンケートにおいて、「主体的な課題解決ができていないか」を問う項目で、87%の児童が肯定的な回答をし、「授業における質の深化」という項目では、97%の職員が肯定的に回答している。

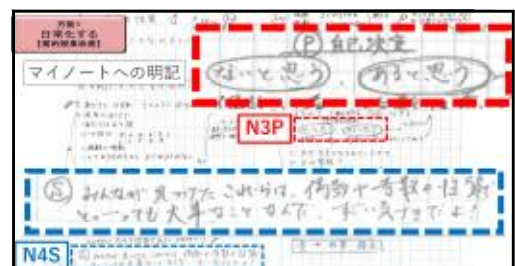


図4 マイノートへの記載

5 課題

児童が中学へスムーズな接続ができるよう、中学校区での連携の強化。